

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記検査項目の測定試薬に使用されている抗原が変更する旨、試薬製造元より報告を受けました。本変更により検査値が変動する場合があります。

誠に勝手ではございますが、事情ご賢察の上、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。 敬白

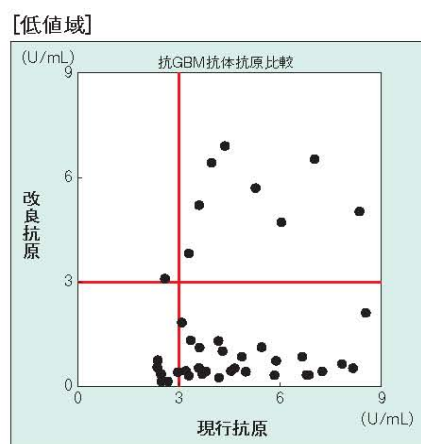
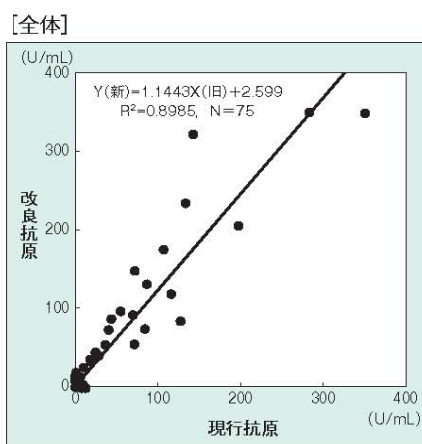
***** 記 *****

■内容変更項目

項目コード No.	検査項目名	変更箇所	新	旧
23186	抗糸球体基底膜抗体 (抗 GBM 抗体)	検査方法	CLEIA 【医学生物学研究所】	CLEIA 【医学生物学研究所】

※項目コード、検体量等の検査要項に変更はございません。

新旧二法の相関



[判定一致率]

		改良抗原	
		陽性	陰性
現行抗原	陽性	38	30
	陰性	1	6

陽性一致率：55.9% (38/68)
陰性一致率：85.7% (6/7)
判定一致率：58.7% (44/75)

結果解釈

- ① 現行の抗原陽性、改良後の抗原陰性の 30 例は、蛍光抗体法ですべて陰性となりました。
- ② 現行の抗原陰性、改良後の抗原陽性の 1 例は、阻害試験で抑制が確認されたため、抗原特異反応と推測されます。

現行抗原で低値陽性の検体で陰性化が多く見られますが、抗原の改良からより特異度が向上した結果と思われます。

■変更期日

平成 25 年 11 月 1 日 (金) 受付分より

以上

13-1027